

みずほCustomer Desk Report 2016/07/22 号(As of 2016/07/21)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	107.28 AUD/USD
TKY 9:00AM	107.17	1.1016	118.08	0.9867	1.3243	0.7464
SYD-NY High	107.49	1.1060	118.44	0.9908	1.3275	0.7514
SYD-NY Low	105.42	1.0980	116.15	0.9842	1.3157	0.7452
NY 5:00 PM	105.82	1.1026	116.66	0.9860	1.3231	0.7494
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	15.605/16.105		△25RR	0.935	Yen Call Over	

NY DOW	18,517.23	▲ 77.80	債券市場	日本2年債	-0.3160	0.6bp
NASDAQ	5,073.90	▲ 16.03		日本10年債	-0.2160	1.6bp
S&P	2,165.17	▲ 7.85		米国2年債	0.6778	▲3.2bp
日経平均	16,810.22	128.33		米国5年債	1.0940	▲4.1bp
TOPIX	1,339.39	8.64		米国10年債	1.5560	▲2.4bp
シカゴ日経先物	16,625	▲310.00	為替市況	独10年債	-0.0170	▲0.6bp
ロンドンFT	6,699.89	▲29.10		英10年債	0.8340	▲0.1bp
DAX	10,156.21	14.20		豪10年債	1.9240	0.4bp
ハンセン指数	22,000.49	118.01		USD/CNH	6.6769	▲0.0016
上海総合	3,039.01	11.11	商品市況	ドルインデックス	96.95	▲0.25
USDJPY 3M Vol	13.61	▲0.07%		CRB指数	183.666	▲1.42
USDJPY 6M Vol	12.65	▲0.19%		NY金	1,331.000	11.70
EURJPY 3M Vol	14.58	0.17%		WTI	44.750	▲1.00
EURJPY 6M Vol	13.72	0.01%		Dubai Spot	43.12	0.25

東京	前日海外時間に、「本邦政府が経済対策の事業費を20兆円超とする方向で調整している」との報道を受けてリスクセンチメントが改善し、ドル円はシドニー時間に107.46まで上昇。一部では仕掛け的なドル買いが入ったとの見方も出ていた。その後、107.17レベルまで戻して東京時間オープン。日経平均株価が高寄り後、前日比200円超の上昇を見せる中、ドル円は堅調推移し高値107.49をつける。しかし、ドル円が6月上旬以来約6週間ぶりの高値圏まで上昇したことで、本邦輸出企業の円転フローや投機筋のポジション調整が意識され、上値は限定的。後場に日経平均株価が上げ幅を縮小させる局面ではドル円は107.00を割れて106.85まで下落。但し、海外時間にECB理事会を控えて様子見ムードも広がる中、一段と下押しすることとはならず、再び107円台を回復する。結局、ドル円は107.21レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は105円台半ばまで大幅に下落した後、106円台前半まで値を戻す展開となった。朝方は107.21レベルでオープンし、米金利が低下する中で107円を割り込む。「日銀内に今後の政策運営にはより慎重な見極め必要の声も」「日銀内で量的・質的緩和の持続可能性に懸念広がっている」との一部報道を受け106円台後半まで小幅下落。さらに「ヘリコプターマネーは必要性も、可能性もない」との黒田日銀総裁の発言が報道されると、ドル円はストップロスオーダーを巻き込みながら105円台後半まで急落。一時的に106円台を回復する場面もみられたものの、ドル売り優勢の地合いとなり105.42の安値をつけた。その後、「黒田日銀総裁のヘリコプターマネーに関するインビューは6月半ばに行われた」との報道が流れると、再び106円台前半まで上昇し、106.33レベルでNYへ渡った。一方、ユーロドルは1.1030レベルでオープン。ECB理事会結果発表を控え、1.10台前半でのレンジ推移。ECB理事会では金融政策が予想通り据え置きとなったことで市場の反応は限定的となり、1.1012レベルでNYへ渡った。(ロンドン・トルジャー 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	ドル円は、106.33レベルでNYオープン。朝方は、米新規失業保険申請件数が予想比強い結果となった一方、同7月フィデリティ連銀景況指数が予想を下回るという強弱混在の結果だったことや、ECB理事会で金融政策据え置き発表後のドラギECB総裁の記者会見を目前に控え、ドル円はオープン水準でレンジ推移。ドラギ総裁の記者会見は予想されていたほど派手な姿勢ではなく、一旦ドル売りが優勢となり105.98まで下落する。しかし、その後米金利が上昇する動きにドル買いが強まり、106.49まで戻す。但し、原油相場が下落し、株式市場でも利益確定の売りにダウが前日比100ドル超下落し、加えて米金利が低下する展開に、105.65まで下落。終盤に掛けては105円台後半での狭いレンジでの推移が続く、105.82レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.1012レベルでNYオープン。注目のドラギ総裁の記者会見では思った程派手ではなく、次回9月会合で追加緩和を打ち出す可能性を排除しないものの約束を示したことで、1.1060まで上昇。しかし、その後はドル買いが優勢となったことから1.0980まで下落する。午後は米株・米金利が低下する展開にドル売りが優勢となったことでユーロドルはじりじりと値を戻し、1.1026レベルでクロスした。(NY 00531 113 682井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当：島田・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月21日	13:30	日 全産業活動指数(前月比)	5月 -1.0%	-1.1%
	15:00	日 工作機械受注(確報、前年比)	6月 -19.9%	-
	17:30	英 小売売上高(前月比/前年比)	6月 -0.9%/4.3%	-0.6%/5.0%
	20:45	欧 ECB主要政策金利	-	0.000%
	21:30	欧 ドラギECB総裁 記者会見	-	-
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	253K 265K
	21:30	米 フィデリティ連銀景況指数	7月 -2.9	4.5
	23:00	米 中古住宅販売件数	6月 5.57M	5.48M
	23:00	米 景気先行指数	6月 0.3%	0.2%

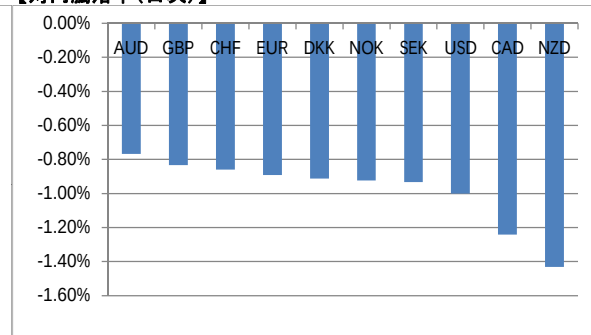
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月22日	08:50	日 対外・対内証券投資	-	-
	11:00	日 日経日本PMI製造業	7月 -	48.1
	16:30	独 PMI(速報、製造業/サービス業/コンポジット)	7月 53.4/53.2/53.6	54.5/53.7/54.4
	17:00	欧 PMI(速報、製造業/サービス業/コンポジット)	7月 52.0/52.3/52.5	52.8/52.6/53.1
	17:30	英 PMI(速報、製造業/サービス業/コンポジット)	7月 48.7/48.8/49.0	52.1/52.3/52.4
	21:30	加 CPI(前月比/前年比)	6月 0.1%/1.4%	0.4%/1.5%
	21:30	加 コアCPI(前月比/前年比)	6月 -0.1%/2.0%	0.3%/2.1%
	22:45	米 製造業PMI(速報)	7月 51.5	51.3

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.00-106.30	1.1000-1.1050	115.50-117.40

【マーケット・インプレッション】

昨日海外市場のドル円相場は下落する展開。来週の日銀金融政策決定会合を控え、足許注目が集まっていたヘリコプターマネー政策について否定的な黒田日銀総裁発言が報道されたことが下落の切っ掛けとなった。本日のドル円相場は上値重い展開を予想する。来週のFOMCおよび日銀金融政策決定会合を控える中、本日は注目度の高い経済指標の発表等が予定されており、足許ではグローバルに株式堅調の展開が続いているが、本日は週末を控え一旦の利食い売りが入る展開が相対的に想定され易いだろう。ドル円相場は動意が薄い中で漸進的に水準を切り下げる展開を予想する。